

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2023年6月9日）

■第1版 第3刷（2017年3月25日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758117975_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第8講					
55	下から4～5行目	仮説検定では、前者を αエラー(alpha error) 、後者を βエラー(beta error) とよんでいます。	仮説検定では、前者を βエラー(beta error) 、後者を αエラー(alpha error) とよんでいます。		19/07/05
第9講					
67	8行目	開発中止しまうことです	開発中止 して しまうことです		20/06/05
68	表1, 脚注	10%寛解維持＝生存確率 0.9	10%寛解維持＝生存確率 0.1		17/08/31
第11講					
79	下から9行目	平均の差＝(5+7+11)/3…	平均の差 -10 ＝(5+7+11)/3…		19/07/05
79	下から6～7行目	すなわち、平均の差の絶対値が	すなわち、平均の差 -10 の絶対値が		19/07/05
第12講					
86	9行目	信頼区間全体が 試験治療 よりも優るような位置	信頼区間全体が 比較対照の治療 よりも優るような位置		21/02/12
第13講					
97	図2	下記 ※1 参照			23/06/09
98	17～18行目	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針が設けられていますが、内容はGCPとは異なる部分があります し、法律や省令ではありません。	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 と臨床研究法 が設けられていますが、内容はGCPとは異なる部分があります 。		23/06/09
第16講					
114	「本講のエッセンス」最終行	本質的 は「平均値」です。	計算は本質的に 「平均値」です。		21/02/12
第20講					
131	下から5行目	CBZ群のリスク/ LT 群のリスク	CBZ群のリスク/ PLB 群のリスク		21/10/29
第22講					
138	「本講のテーマ」3～4行目	カルバマゼピン対 リチウム のリスク比を $1.10 \times 0.62 = 0.68$ (CBZ群/ LT 群)	カルバマゼピン対 プラセボ のリスク比を $1.10 \times 0.62 = 0.68$ (CBZ群/ PLB 群)		21/10/29
別冊					
51	左段「I 代表的なグラフ」問題1-3, 解説文1行目	サンプルサイズが 2 以上	サンプルサイズが 4 以上		21/02/12

※1 赤丸部分を追記ください(「臨床研究法」を追加)

